

「アメリカ環境法の判例を考える」

【講師】 辻 雄一郎氏・明治大学法学部准教授

カリフォルニア大学バークレーロースクール (J.S.D,法学博士)、
駿河台大学、筑波大学大学院を経て現職

アメリカの著名な環境に関する判例のうち、連邦主義に関する判例について 2007 年のマサチューセッツ州対 EPA を手はじめに、それに関連する有名な判例（その他歴代大統領の政策や発言等の資料）を紹介します。



【司会】 久末弥生（大阪市立大学大学院・都市経営研究科教授）

北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了・博士（法学）、
フランス国立リモージュ大学大学院法学研究科正規留学、
アメリカ合衆国テネシー州ノックスビル市名誉市民。

単著『考古学のための法律』（日本評論社）、『都市計画法の探検』（法律文化社、第 25 回国際公共経済学会賞受賞）、『現代型訴訟の諸相』（成文堂）、編著『都市行政の最先端－法学と政治学からの展望』（日本評論社）他著書多数。

【開催日時】 2021年10月8日（金）18時30分～21時

【開催形態】 オンライン開催（一般参加可・事前申込制・参加無料）

無料ですが、必ず以下の担当教員にメール連絡先明記の上、メールで申し込み
お願いいたします→ 久末 hisasue[at]osaka-cu.ac.jp []内 at を@に変更してください
★ご質問・お問合せも同アドレスにご連絡下さい。